

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2018-191970 (P2018-191970A)

【公開日】平成 30 年 12 月 6 日 (2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-047

【出願番号】特願 2017-97874 (P2017-97874)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 18 日 (2020.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体が用いられる遊技機であって、
 遊技媒体が通過可能な通過可能領域が設けられた構造体と、
 前記通過可能領域の前方において発光可能に設けられた導光部と、
 前記導光部を制御可能な制御手段と、を備え、
 前記制御手段は、所定期間において前記導光部が発光しないように制御し、
 前記所定期間は、遊技者にとって有利な状態とは異なる所定状態に制御される期間のうちの少なくとも一部に対応する期間である、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 遊技媒体(遊技球等)が用いられる遊技機(パチンコ遊技機 1 等)であって、
遊技媒体が通過可能な通過可能領域(図 5 7 および図 5 8 の第 2 大入賞口 7 0 2、第 1 誘導経路 2 0 1、第 2 誘導経路 2 0 2 A、第 3 誘導経路 2 0 3 A 等)が設けられた構造体(図 5 7 および図 5 8 の第 2 特別可変入賞球装置 7 B 等)と、
前記通過可能領域の前方において発光可能に設けられた導光部(図 5 7 および図 5 8 の導光部 3 0 等)と、
前記導光部を制御可能な制御手段(演出制御用 CPU 1 2 0 等)と、を備え、
前記制御手段は、所定期間(図 5 9 の小当り遊技状態開始時から終了時までの期間等)において前記導光部が発光しないように制御し(導光部 3 0 を非発光状態にする制御を行う)、
前記所定期間は、遊技者にとって有利な状態とは異なる所定状態に制御される期間のうちの少なくとも一部に対応する期間である(図 5 9 の小当り遊技状態開始時から終了時までの期間等)。

このような構成によれば、導光部を設ける場合に、遊技者にとって有利な状態とは異なる所定状態に制御される期間のうちの少なくとも一部に対応する期間において、適切な発

光制御をすることができる。

(1) 遊技媒体 (遊技球等) が用いられる遊技機 (パチンコ遊技機 1 等) であって、
遊技媒体が通過可能な通過可能領域 (図 5 7 および図 5 8 の第 2 大入賞口 7 0 2、第 1
誘導経路 2 0 1、第 2 誘導経路 2 0 2 A、第 3 誘導経路 2 0 3 A 等) が設けられた構造体
(図 5 7 および図 5 8 の第 2 特別可変入賞球装置 7 B 等) と、

前記通過可能領域の前方において発光可能に設けられた導光部 (図 5 7 および図 5 8 の
導光部 3 0 等) と、

前記導光部を制御可能な制御手段 (演出制御用 C P U 1 2 0 等) とを備え、

前記制御手段は、所定期間 (図 5 9 の小当り遊技状態開始時から終了時までの期間等)
において前記導光部が発光しないように制御する (導光部 3 0 を非発光状態にする制御を
行なう) 。